

# 第10期スタートしました！

2020（令和2）年4月に第10期（任期2年）となる公募委員54名が、阪神北地域ビジョン委員として兵庫県知事から委嘱されました。

コロナ禍で、例年より3カ月遅れて7月12日に第1回全体会を開催し活動がスタートしました。

第1回全体会では、ポストコロナ社会を見据えた『兵庫から新たな未来を創る』と題した金澤副知事の講演の後、委員のみなさんと活発な意見が交わされました。委員の皆さん同士、初めてのお顔合わせでしたが、今後の活動に対する期待と熱い思いがあふれた会議となりました。

その後、ビジョン委員として阪神北地域のためにやってみたい活動を委員の皆さん同士で話し合う会議を経て、8月中旬に5つの活動グループが完成されました。



第10期阪神北地域  
ビジョン委員会 委員長

松元 一路

今期は新型コロナウイルス感染症の蔓延を受け、開始から様々な制約がある中でも委員全員で何ができるかを模索しながら活動をすすめてまいります。

当初の1年間は多くの人が集まるような行動は避け、感染終息後には阪神北地域の皆様を明るく楽しく、また元気が出るようなイベントや催しができるか計画を練る期間としております。

地域の皆様からは多くの各種イベントなどが中止になり残念、寂しいと言ったお声が耳に届いております。各委員は打合せや会合などはオンライン会議システムを活用し、屋外行動の自粛が必要な時期でも様々な活動をしています。この仕組みを用いてオンライン上で可能な催しなどについても試行錯誤を重ねながら検討しているところです。

2年間の任期の中で各委員はできることと、できないことの区別と判断を吟味し、実施に際しては万全の態勢で臨んでまいります。



阪神北県民局長

坂本 哲也

阪神地域の将来像を描いた「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指す活動や普及啓発に取り組む「阪神北地域ビジョン委員会」。

2001年のスタートから第10期、20年を迎える今期の委員会。

委員の皆さんが、「市民主体の幅広い社会経済活動が展開する阪神市民文化社会の創造」をめざすさまざまな活動でリーダーとなって、地域に新たな風を吹き込み、活躍されることを期待しています。

また、社会環境の急速な変化も踏まえ、2050年の将来像を描く新たなビジョンづくりもはじまりました。地域の皆様と一緒に、このすばらしい阪神地域の新たな未来を描き、魅力ある、豊かな、住みよい阪神地域をつくっていく取組にご協力、ご参加いただきますようお願いいたします。

## 専門委員とアドバイザーの紹介

委員会の活動や運営に助言をいただいています

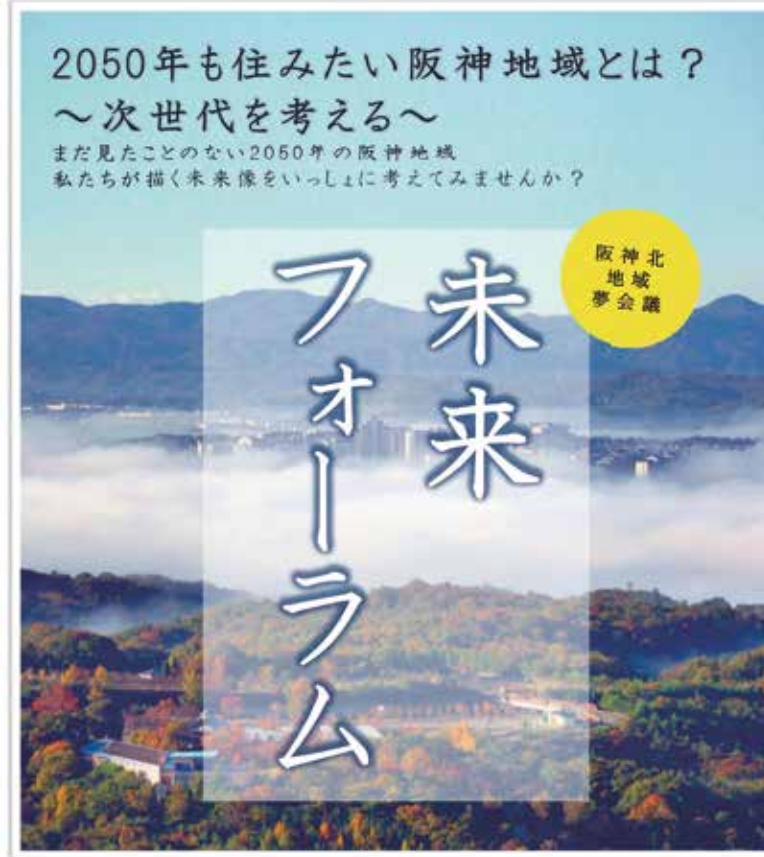
### 【専門委員】

芳田 茂樹 大手前大学 教授  
大平 和弘 兵庫県立人と自然の博物館 研究員  
今井 一郎 関西学院大学大学院 教授  
滋野 英憲 神戸国際大学 副学長

### 【アドバイザー】

八木下 榮一 第7期委員長  
古武家 善成 第8期委員長  
森下 正子 第8期・第9期副委員長

## 阪神北地域未来フォーラム（夢会議）参加者募集



2050年を展望する新しいビジョンの策定に向けて検討を進めている「新全県ビジョン」と「阪神新地域ビジョン」の検討状況をお知らせし、阪神地域の未来像を、若者から高齢者まで多くの地域の皆様とともに議論する「阪神北地域未来フォーラム（夢会議）」を開催します

日時 2021年 2月21日 [日]  
13:00～16:20 (12:30から受付)

会場 アステ市民プラザ (アステ川西6階) **参加無料**

申込 事前申込・先着100名  
どなたでも参加できます



詳しくは県HPを  
ご覧ください。

## 編集後記

2020年度、気象変動による様々な災害やコロナ禍で、自分の身は自分で守りながら、第10期の出発となりました。

自然の恵みの中で先人の知恵を学んで、人との繋がりを持ってこれから生きる。そんな地域社会の一端を、そして各グループの行動目標に沿った実践活動を「夢じゃーなる」を通して紹介し、みなさまに興味や関心をもっていただければ幸いです。

第10期広報部会長 三宅



阪神北地域ビジョン委員会  
へのお問い合わせは  
こちらまで！



## facebook やってます！

阪神北地域ビジョン委員会の情報を  
随時発信中です。

阪神北地域ビジョン委員会 フェイスブック



## ホームページ 更新中！

「兵庫県ホームページ」にてビジョン委員会の活動が  
ご覧になれます。

兵庫県ホームページ >  
県政情報・統計（県政情報） >  
県民局・県民センター情報 >  
阪神北県民局 > ビジョン委員会活動

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/hankita\\_vision.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/hankita_vision.html)

## 発行

## 阪神北地域ビジョン委員会

（事務局）  
〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15  
阪神北県民局 総務企画室 総務防災課  
TEL 0797-83-3119 FAX 0797-86-4379

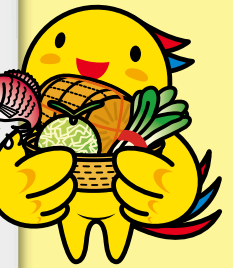
2021年1月発行 02 神北@2-001 A4

# 夢じゃーなる



伊丹市  
宝塚市  
川西市  
三田市  
猪名川町

HANKITA



写真：第1回全体会

## ビジョンとは

「ビジョン」とは、県民、事業者、団体、NPO、行政などが、目標として共有できる望ましい社会の姿を示すものです。

阪神北地域では、市民自らが、あるいは市民と行政が協働して取り組むための行動指針として、「阪神市民文化社会ビジョン」を策定しています。阪神北地域ビジョン委員会は、ビジョンの普及啓発やビジョンの実現に向けた実践活動など様々な活動に取り組んでいます。

## CONTENTS

- ・ 阪神北地域ビジョン委員会 第10期スタート
- ・ 第10期活動グループの紹介
- ・ 未来フォーラム（夢会議）の案内／編集後記

ご自由にお持ち帰りください



**目標** 多世代の方々が楽しめる交流イベントの展開により  
異なる世代間のコミュニケーションのきっかけづくりを

## エンジョイ 多世代交流

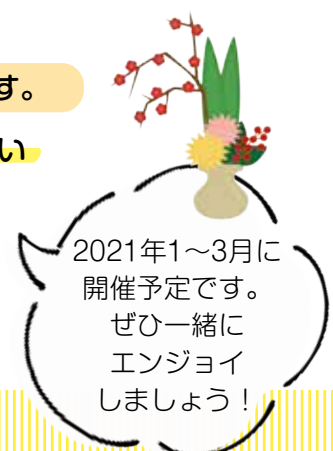


グループ会議の様子

現状の地域社会活動には、改善すべき問題があります。その一つが、参加者構成の偏りです。シルバー世代だけ、あるいはママ友グループだけ、というように同世代だけの交流になっています。その解決手段として、私たち「エンジョイ多世代交流」グループでは、多世代交流イベントの展開により、不足しがちな異世代間のコミュニケーションのきっかけづくりを目指しています。

今年度は5つのイベントを準備中です。

- 子ども生け花と自然工作を楽しむ集い
- 巡礼街道の歩き方教室
- 大災害時のクッキング体験会
- 手に付いた細菌が見える化実験会
- 上手な会議の進め方体験教室



2021年1～3月に開催予定です。ぜひ一緒にエンジョイしましょう！



# 第10期 活動グループ紹介

コロナ禍で、例年より遅く8月に結成しました。

阪神北地域ビジョン委員会は、「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指し実践活動を行います。「阪神市民文化社会ビジョン」は、以下の4つの行動目標を提示しており、行動目標に則したテーマ設定をしたグループに分かれて活動します。第10期では5つの活動グループが結成されました。

**行動目標 1**  
多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

**行動目標 2**  
自律と協働による温かいコミュニティをつくる

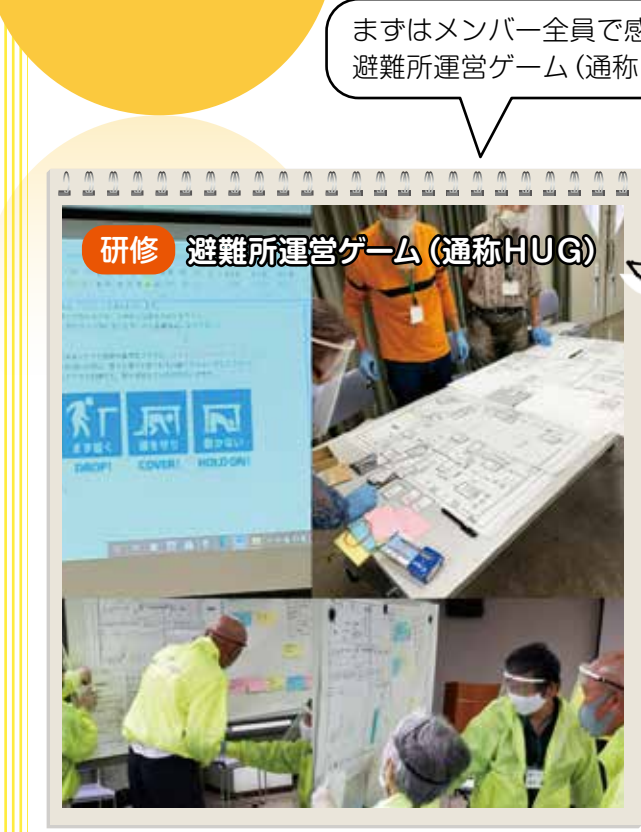
**行動目標 3**  
自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

**行動目標 4**  
豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

「阪神市民文化社会ビジョン」とは、市民の皆さんによって描かれた地域の将来像です。

## はんしん 北防災

**目標** 阪神北地域の防災・減災の為に市民の意識・知識を高める為、情報収集や発信活動を行う



研修 避難所運営ゲーム(通称HUG)

まずはメンバー全員で感染症対策を含んだ避難所運営ゲーム(通称HUG)を行いました。

講師・進行は、代表の中小路委員が行いました。



グループ会議

グループ会議においても、感染症対策を注意深く取り入れ、一つの防災対策とみなし率先して行っています。情報発信活動として、12月5日に防災講演会「災害の時代における地域コミュニティの有り方」(講師:室崎益輝教授)、「実践!家庭の防災術」(講師:室崎友輔先生)を開催し、福祉事業所によるチャリティ出店と震災の爪痕の写真展示を行いました。文明災害ともいえるコロナ禍においても、グループの活動を円滑に行う為、ライン、メール、ZOOM会議などを駆使し、活動の効率化を飛躍的に向上させています。

**目標** 地域の自然環境や文化を学び、これからの地域づくりやまちづくりに活かすためのエコツアーを実施する

## 自然の 学び



グループ会議

8月23日の第1回グループ会議で事業計画を以下のとおり決定しました。

- エコツアーを2年間で5回(4市1町)実施する。
- 月1回会議を開いて、エコツアーの目的・意義を学び、実施方法を検討する。

年内はグループで適宜講師を招いて勉強会をし、年が明けてからエコツアーを実施する予定です。各エコツアーは担当を2名、準備期間を2、3カ月で行います。

### 講演・勉強会

9月27日に、北摂里山博物館運営協議会の事務局長から、里山エコツアー実施についての心構え、目的・意義を確認し、日程の取り方、場所の設定など具体例と、より広範囲にわたっての留意事項をお聴きしました。



2021年2月と3月のエコツアーは、宝塚地区と伊丹地区に決定しました！

## 阪北 ファーム

**目標** 無農薬野菜の栽培と実践を通じた新たな農業モデルの構築  
1年目「栽培技術の向上」 2年目「講習会と農業体験開催」

コロナ禍で開始時期が遅れましたが、市民農園を借りて準備を行っていたので、8月には種まきができ、サニーレタスやラディッシュ、ナスやキュウリなどの夏野菜が収穫できました。



勉強会

10月に座学を行い、野菜作りの基本、化学性・物理性・生物性などの要件を満たす土作りを学び、来期の作付けプランを考えました。

収穫した野菜は宝塚の子ども食堂への提供などを行い、子ども達に私達が作った無農薬で安全・美味しい野菜を食べてもらいました。  
農業体験などを行う為に耕作放棄地を探しています。



11月に里芋やインゲン、12月にはジャガイモも収穫しました。

## ひょうご北摂 ☆ 食・動・楽・街

**目標** 「食・動・楽・街」を切り口に魅力を掘り下げローカル情報媒体と連携して地域の魅力を発信

美味しいもの、おもしろい人・コト・街に、ホンマモんの日本一を探りに行く、ひょうご北摂応援団10名。二つのアプローチで、地域の魅力発信にチャレンジします。

- 地域の「食・動・楽・街」にスポットを当て、体験して掘り下げ、情報発信素材に仕立てる活動**  
身近に埋もれた地域アピールの最強候補にテーマを絞り込み、自ら深掘りする体験活動を通して、説得力のある情報素材に仕立て、ローカル情報媒体などを活用して発信していきます。
- ローカル情報媒体やキーマンと連携して、情報を地域あまねく多世代に繋げる活動**  
地域活性化や情報発信で既に地域への発信力・影響力を持つキーマンの方々と連携を図り、利用媒体の違いや世代間の隔たりで、接点が無かったり滞りがちな情報を、地域あまねく多世代間で共有・活用・集客できるように、情報連携支援の役割を果たしていきます。



写真:三田特産「原木しいたけ」を探る活動初回の一コマ。最年少20歳～最高齢94歳まで、好奇心旺盛なおっさん達と紅一点。